

<b>科目名</b>	総合日本語 6－8 A Integrated Japanese 6－8A		新座
<b>担当者</b>	斉藤 紀子 (Saito, Noriko)		
<b>開講学期</b>	春学期	<b>単位数</b>	1 単位

### 授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

### 授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,聴く・話す活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,内容理解とともにディスカッションやプレゼンテーションのしかたを身につけることを目指す。

### 授業計画

1. 授業概要,大学で必要な日本語力とは
2. 聴く・話す技術①-1 導入と資料理解
3. 聴く・話す技術①-2 実践とフィードバック
4. 聴く・話す技術②-1 導入と資料理解
5. 聴く・話す技術②-2 実践とフィードバック
6. 聴く・話す技術③-1 導入と資料理解
7. 聴く・話す技術③-2 実践とフィードバック
8. 聴く・話す技術④-1 導入と資料理解
9. 聴く・話す技術④-2 実践とフィードバック
10. 最終発表の準備① テーマの検討
11. 最終発表の準備② 構成の検討
12. 最終発表の準備③ レジюме・PPTの検討
13. 最終発表と振り返り①
14. 最終発表と振り返り②

### 授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

### 成績評価方法・基準

クラスへの参加度 40%,授業内課題の提出状況および内容 45%, 最終発表 15%,

### テキスト

特に指定しない。

### 参考文献

授業の際に適宜紹介する。

### 準備学習・その他(HPなど)

<b>科目名</b>	総合日本語 6－8 B Integrated Japanese 6－8B		新座
<b>担当者</b>	川端 芳子 (Kawabata, Yoshiko)		
<b>開講学期</b>	春学期	<b>単位数</b>	1 単位

#### 授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

#### 授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,読む・書く活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,読解力を高めるとともに,レポートや論文を書く際に必要な技能を身につけることを目指す。

#### 授業計画

1. 授業概要,大学に必要な日本語力とは
2. テーマ①-1 導入と共通資料の読解活動
3. テーマ①-2 分担読解とディスカッション
4. テーマ①-3 振り返りと書く技術の導入
5. テーマ①-4 ピア・エディティング活動
6. テーマ②-1 導入と共通資料の読解活動
7. テーマ②-2 分担読解とディスカッション
8. テーマ②-3 振り返りと書く技術の導入
9. テーマ②-4 ピア・エディティング活動
10. テーマ③-1 導入と共通資料の読解活動
11. テーマ③-2 分担読解とディスカッション
12. テーマ③-3 振り返りと書く技術の導入
13. テーマ③-4 ピア・エディティング活動
14. レポートの提出とまとめ・振り返り

#### 参考文献

授業の際に適宜紹介する。

#### 準備学習・その他(HPなど)

#### 授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

#### 成績評価方法・基準

クラスへの参加度 40%, 授業内課題の提出状況および内容 30%, 小レポート最終版 30%,

#### テキスト

特に指定しない。

<b>科目名</b>	総合日本語 6－8 C Integrated Japanese 6－8C		新座
<b>担当者</b>	斉藤 紀子 (Saito, Noriko)		
<b>開講学期</b>	秋学期	<b>単位数</b>	1 単位

#### 授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

#### テキスト

特に指定しない。

#### 参考文献

授業の際に適宜紹介する。

#### 授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,聴く・話す活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,内容理解とともにディスカッションやプレゼンテーションのしかたを身につけることを目指す。

#### 準備学習・その他(HPなど)

#### 授業計画

1. 授業概要,大学で必要な日本語力とは
2. 聴く・話す技術①-1 導入と資料理解
3. 聴く・話す技術①-2 実践とフィードバック
4. 聴く・話す技術②-1 導入と資料理解
5. 聴く・話す技術②-2 実践とフィードバック
6. 聴く・話す技術③-1 導入と資料理解
7. 聴く・話す技術③-2 実践とフィードバック
8. 聴く・話す技術④-1 導入と資料理解
9. 聴く・話す技術④-2 実践とフィードバック
10. 最終発表の準備① テーマの検討
11. 最終発表の準備② 構成の検討
12. 最終発表の準備③ レジюме・PPTの検討
13. 最終発表と振り返り①
14. 最終発表と振り返り②

#### 授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

#### 成績評価方法・基準

クラスへの参加度 40%, 授業内課題の提出状況および内容 45%, 最終発表 15%,

<b>科目名</b>	総合日本語 6－8 D Integrated Japanese 6－8D		新座
<b>担当者</b>	川端 芳子 (Kawabata, Yoshiko)		
<b>開講学期</b>	秋学期	<b>単位数</b>	1 単位

#### 授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

#### テキスト

特に指定しない。

#### 授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,読む・書く活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,読解力を高めるとともに,レポートや論文を書く際に必要な技能を身につけることを目指す。

#### 参考文献

授業の際に適宜紹介する。

#### 準備学習・その他(HPなど)

#### 授業計画

1. 授業概要,大学で必要な日本語力とは
2. テーマ①-1 導入と共通資料の読解活動
3. テーマ①-2 分担読解とディスカッション
4. テーマ①-3 振り返りと書く技術の導入
5. テーマ①-4 ピア・エディティング活動
6. テーマ②-1 導入と共通資料の読解活動
7. テーマ②-2 分担読解とディスカッション
8. テーマ②-3 振り返りと書く技術の導入
9. テーマ②-4 ピア・エディティング活動
10. テーマ③-1 導入と共通資料の読解活動
11. テーマ③-2 分担読解とディスカッション
12. テーマ③-3 振り返りと書く技術の導入
13. テーマ③-4 ピア・エディティング活動
14. レポートの提出とまとめ・振り返り

#### 授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

#### 成績評価方法・基準

クラスへの参加度 40%, 授業内課題の提出状況 および内容 30%, 小レポート最終版 30%,